

第13期中間期

2011年2月1日～2011年7月31日

SUMCO 株主通信



株式会社 SUMCO
SUMCO CORPORATION

www.sumcosi.com

証券コード：3436



株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。第13期中間株主通信をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループの半導体用シリコンウェーハにつきましては、東日本大震災により被災した米沢工場を早期に復旧させるとともに、九州地区での増産により、旺盛な需要に全社を挙げて対応してきました。一方、太陽電池用シリコンウェーハは、市場環境の急変を受け、厳しい局面となりました。そのような環境下、「収益基盤強化策」に基づき、固定費の削減や生産性の改善を推し進めてまいりました。

第2四半期累計期間の業績は、東日本大震災に伴う特別損失などもあり、13億円の純損失計上となりました。つきましては、誠に申し訳なく存じますが、中間配当は無配とさせていただきます。

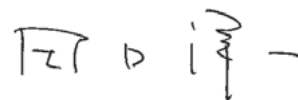
下半期につきましては、世界経済の先行き懸念の強まりとともに、シリコンウェーハ需要は減少する見込みであります。さらに円高の影響もあり、平成24年1月期の連結業績予想を修正いたしました。

しかしながら、市場の調整は一時的なものと予想いたしますので、我々はシリコンウェーハ専門メーカーとして、引き続き経営体質の強化、確固たる収益基盤の構築に全力で取り組んでまいります。

株主の皆さまには、当社の取り組みを是非ご理解いただき、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2011年10月

取締役社長

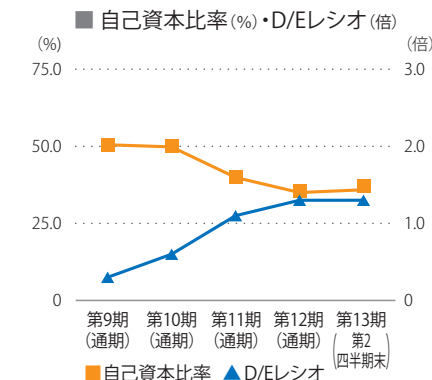
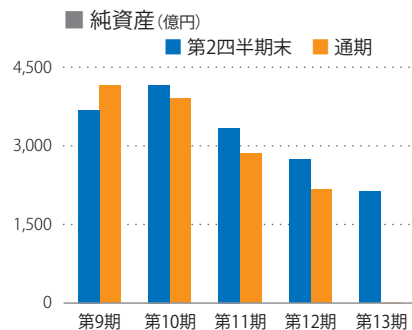
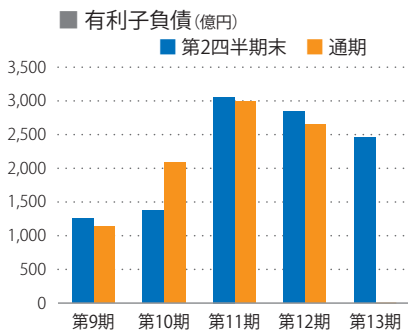
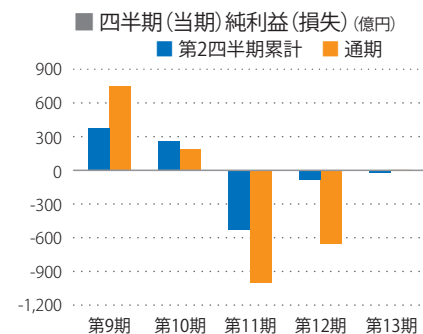
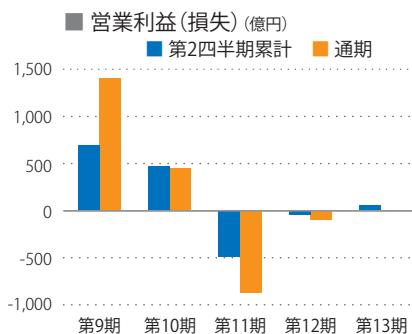
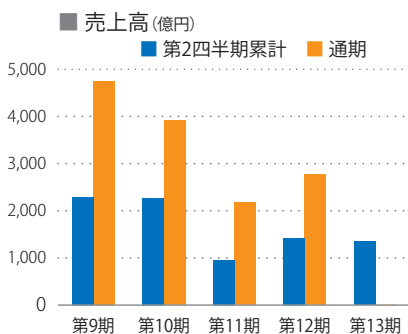


連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

(単位: 億円、億円未満切捨)

	第9期 2007年2月1日～ 2008年1月31日		第10期 2008年2月1日～ 2009年1月31日		第11期 2009年2月1日～ 2010年1月31日		第12期 2010年2月1日～ 2011年1月31日		第13期 2011年2月1日～ 2012年1月31日
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高	2,291	4,749	2,271	3,919	957	2,182	1,423	2,769	1,349
営業利益(損失)	689	1,403	472	450	△ 488	△ 865	△ 11	△ 84	54
経常利益(損失)	661	1,330	465	393	△ 612	△ 1,147	△ 99	△ 261	15
四半期(当期)純利益(損失)	372	748	256	188	△ 529	△ 1,004	△ 83	△ 655	△ 13
総資産	6,230	7,104	7,097	7,338	7,214	6,628	6,359	5,617	5,420
有利子負債	1,257	1,141	1,376	2,080	3,057	2,996	2,841	2,648	2,454
純資産	3,684	4,155	4,161	3,895	3,341	2,849	2,742	2,161	2,133
自己資本比率(%)	52.6	50.5	54.6	49.8	43.2	39.9	40.0	35.0	35.9
D/Eレシオ:有利子負債/純資産(倍)	0.4	0.3	0.4	0.6	1.0	1.1	1.1	1.3	1.3



事業成績の概況(連結)

Review of Operations

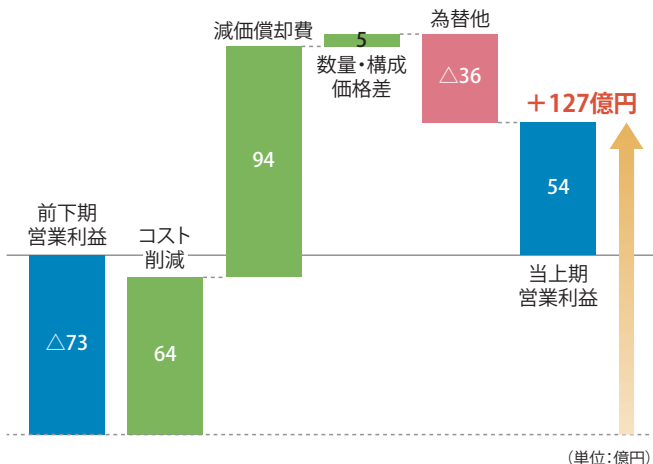
■ 第2四半期連結累計期間の経営成績

市場環境について	当社の状況について
半導体用シリコンウェーハ <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの出荷が伸び悩んだものの、スマートフォンやタブレット型情報端末などの需要拡大が継続 ● 東日本大震災による緊急需要 → 半導体用シリコンウェーハ需要は旺盛な状況が継続	東日本大震災により被災した米沢工場を早期に復旧させるとともに、九州地区での増産により、増加した需要に全社を挙げて対応したことから、想定より出荷量は増加しました
太陽電池用シリコンウェーハ <ul style="list-style-type: none"> ● 欧州での電力買取制度の変更などによって、需要が急減 → 太陽電池用シリコンウェーハ需要が急減、価格の大幅下落が生じた	

このような環境のもと、当社グループの業績は、「収益基盤強化策」に基づく固定費の削減や生産性の改善を推し進めてまいりました結果、売上高1,349億円、営業利益54億円、経常利益は15億円となりました。東日本大震災に伴う特別損失の計上などもあり、四半期純損失は13億円となりました。

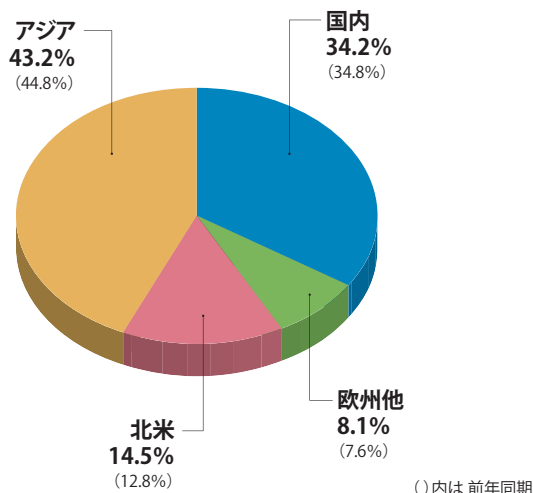
■ 営業利益の増減分析

当第2四半期累計期間の営業利益について、2010年度下期(平成22年8月1日～平成23年1月31日)からの増減分析は以下のとおりです。



■ 海外売上高の状況

当第2四半期累計期間の海外売上高は 888億円であり、総売上高に占める割合は65.8% (前年同期65.2%) となりました。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 (2010年2月1日～ 2010年7月31日)	当第2四半期累計 (2011年2月1日～ 2011年7月31日)
売上高	142,337	134,938
売上原価	127,950	115,707
売上総利益	14,386	19,231
販売費及び一般管理費	15,510	13,804
営業利益(△損失)	△ 1,124	5,426
営業外収益	491	701
営業外費用	9,277	4,591
経常利益(△損失)	△ 9,909	1,536
特別損失	543	1,830
税金等調整前当期純利益(△損失)	△ 10,453	△ 294
法人税等	△ 1,736	861
少数株主利益(△損失)	△ 322	207
当期純利益(△損失)	△ 8,394	△ 1,362
設備投資額	6,739	7,283
減価償却費	39,483	25,667
EBITDA	33,658	30,608

■ 連結損益計算書のポイント

売上高

震災後の緊急需要などにより、半導体用300mmシリコンウェーハが増加したものの、円高の影響や、太陽電池用シリコンウェーハが減少した結果、売上高は1,349億円になりました。

営業利益

減価償却費が減少したことに加え、生産性改善などのコスト削減活動、「収益基盤強化策」に基づく施策効果などが寄与した結果、営業利益は54億円となりました。

経常利益

営業外収益7億円に対し、支払利息19億円、減価償却費18億円を含む営業外費用45億円を差し引いた結果、経常利益は15億円となりました。

特別損失

前年同期は事業構造改善費用として5億円を計上しましたが、今期は東日本大震災に係わる損失12億円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額5億円、計18億円を計上しております。

設備投資 他

設備投資金額は72億円、営業外償却を含む減価償却費は256億円であり、EBITDAは306億円でした。

※EBITDA…営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額で計算され、利益水準を示す指標の一つ

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 (2011年1月31日)	当第2四半期末 (2011年7月31日)
(資産の部)		
流動資産	184,688	179,810
固定資産	377,088	362,236
資産合計	561,777	542,046
(負債の部)		
流動負債	146,358	148,281
固定負債	199,275	180,424
負債合計	345,633	328,706
(純資産の部)		
株主資本	205,274	203,910
評価・換算差額等	△ 8,878	△ 9,468
少数株主持分	19,748	18,897
純資産合計	216,143	213,340
負債純資産合計	561,777	542,046

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 (2010年2月1日~ 2010年7月31日)	当第2四半期累計 (2011年2月1日~ 2011年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,688	8,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,826	△ 3,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,233	△ 19,429
現金及び現金同等物の期末残高	58,988	38,667

■ 連結貸借対照表のポイント

資産合計

有形固定資産の減少などにより、5,420億円に減少しました。

負債合計

有利子負債の減少などにより、3,287億円に減少しました。

純資産合計

当期純損失などにより、利益剰余金が減少し、純資産合計は2,133億円となりました。

自己資本 他

少数株主持分を除いた自己資本は1,944億円となり、自己資本比率は35.9%、ネットD/Eレシオは1.1倍となりました。当社の目標は、それぞれ、50%、0.5倍であります。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失は縮小しましたが、減価償却費の減少、運転資金の増加などにより、80億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産や子会社株式の取得を行った結果、△38億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金、リース債務の返済などにより、△194億円となりました。

※自己資本比率…総資産に対する自己資本の割合

※D/Eレシオ…株主資本に対する有利子負債の割合

2012年1月期の見通し

Revision of Business Results Forecast for FY 2011

■ 下期の見通しと業績予想の見直し

これまで堅調に推移してきましたシリコンウェーハ市場は、世界経済の先行き懸念の強まりとともに、電子機器需要にも減速の兆しが見られるようになり、半導体メーカーの一部においては生産調整の動きが出はじめるなど、当初想定より需要が減少する見込みであります。

また、需要が急減した太陽電池市場につきましては、在庫調整が進みつつありますが、需給ギャップの改善には時間がかかるものと思われます。

このような市場環境の変化に加え、円高の影響もあり、平成24年1月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日公表の数値を以下のとおり修正いたしました。

■ 前回予想からの修正ポイント

3月に公表しました業績予想に対し、主な修正内容は次の通りです。

- 下期の為替レートを、1米ドル=80円へ修正
- 未稼働設備を稼働させたため、償却費用が営業内へ移動したこともあり、営業利益は70億円の減額
- 当期純損益は、東日本大震災の被災に係わる特別損失12億円、税金費用などを計上した結果、40億円の減額
- 設備投資額は投資内容の厳選などで、前回予想から130億円の減少
- 減価償却費は46億円減少し、524億円の見通し

(単位:億円)

	2010年度実績	2011年度 前回予想(3月)	2011年度 今回予想(9月)	2010年度実績比 増減額
売上高	2,769	2,850	2,720	△ 49
営業利益(△損失)	△ 84	190	120	204
経常利益(△損失)	△ 261	70	50	311
特別利益(△損失)	△ 230	△ 5	△ 18	212
税金費用等	△ 164	0	△ 7	157
純利益(△損失)	△ 655	65	25	680
設備投資額	103	350	220	117
減価償却費	781	570	524	△ 257
EBITDA	610	720	645	35
為替レート(¥/US\$)	87.5	82.0	* 80.9	△ 6.6

※業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

* 上期実績 81.8円、下期前提 80.0円

平成23年9月7日に開催しました第2四半期決算説明会における、主な質疑応答をご報告します。

Q 半導体シリコンウェーハの 需要見通しはどうか？

A 現在は、世界経済の先行き懸念から半導体市場もその影響を受け、当初想定より需要は減少する見込みです。

しかし、中長期的には、グリーンエネルギーや脱炭素社会に要求される省エネルギー機器、クラウドコンピューティングの浸透に伴い情報蓄積に必要な大容量記憶装置、スマートフォンやタブレット等の携帯用端末製品など、半導体需要はますます増加していくものと予想されます。

今後、このような電子機器需要に対応するため、高性能、低消費電力を実現する最先端の半導体がシリコンウェーハ市場を牽引すると考えます。

当社は、増加する需要に備えるとともに、進化を続ける半導体の微細化技術に対応できるよう、高精度・高品質なシリコンウェーハの研究開発に鋭意取り組んでいます。



Q 円高の影響と、対応は どうなっているのか？

A 当社の顧客である半導体メーカーの多くは海外に製造拠点があるため、円高の進行による為替影響を受けております。

当社は、日本国内の製造拠点と、台湾、米国、インドネシアにある海外製造拠点との連携を強化し、フレキシブルな生産体制を構築するとともに、「収益基盤強化策」に基づき、固定費の削減、生産性の改善など、競争力の強化に取り組んでいます。

Q 太陽電池用シリコンウェーハの 需要はどうなるのか？

A 欧州における電力買取制度の変更に端を発し、需要が急減し、価格が大幅に下落するなど、市場環境が急速に悪化したため、当社の出荷量も急減しました。

この間に生じた需給ギャップの改善には、時間がかかると考えておりますが、世界各国のクリーンエネルギー政策の推進、脱炭素社会の創出を具現化するために、太陽電池市場は他の再生可能エネルギーとともに伸長する分野と考えております。

当社は、市場の急変に対応し、生産性向上などコスト改善に向けて、あらゆる努力を行ってまいります。

株式の状況

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式の総数	257,751,739株
株主数	55,991名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友金属工業株式会社	71,700	27.82
三菱マテリアル株式会社	71,700	27.82
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	9,025	3.50
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	5,860	2.27
株式会社小松製作所	3,961	1.54
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,886	1.51
MELLON BANK ABN AMRO GLOBAL CUSTODY N.V.	3,509	1.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,344	1.30
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,140	1.22
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1,802	0.70

事業所

本社	東京
営業拠点	東京、大阪、福岡
製造等の拠点	九州事業所 伊万里工場(佐賀県伊万里市) 九州事業所 佐賀工場(佐賀県杵島郡江北町) 生野工場(兵庫県朝来市) 米沢工場(山形県米沢市) 千歳工場(北海道千歳市)

連結子会社

国内	SUMCO TECHXIV株式会社	
	SUMCOソーラー株式会社	
	ジャパンスーパーパークオーツ株式会社	
	水俣電子株式会社	
	SUMCOテクノロジー株式会社	
	SUMCOサービス株式会社	
	SUMTECサービス株式会社	
	海外	SUMCO Phoenix Corporation
		SUMCO Southwest Corporation
		SUMCO Funding Corporation
STX Finance America, Inc.		
SUMCO Personnel Services Corporation		
SUMCO Europe Sales Plc.		
PT. SUMCO Indonesia		
SUMCO Singapore Pte. Ltd.		
FORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATION		

取締役及び監査役

取締役社長	田口 洋一 ^{※1}
取締役	石塚 由成 ^{※1}
取締役	阿部 隆司
取締役	彌永 一二三
取締役	佐伯 幸洋
取締役	庄司 和正
取締役	平本 一男
取締役	橋本 真幸 ^{※2}
取締役	高橋 健二 ^{※2}
常勤監査役	小林 民雄
常勤監査役	吉川 博
監査役	田中 等 ^{※3}
監査役	吉田 喜太郎 ^{※3}
監査役	山ノ辺 敬介 ^{※3}

※1 代表取締役

※2 社外取締役

※3 社外監査役



会社概要


商 号 株式会社SUMCO
SUMCO CORPORATION
本 社 所 在 地 〒105-8634 東京都港区芝浦一丁目2番1号
TEL 03-5444-3915 FAX 03-5444-3929
<http://www.sumcosi.com/>

設 立 年 月 日 1999年7月30日
資 本 金 114,107百万円
従 業 員 数 連結8,997名 単体4,220名

株主メモ

事 業 年 度 毎年2月1日から翌年1月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎年4月開催
基 準 日 定時株主総会 毎年1月31日
期末配当金 毎年1月31日
中間配当金 毎年7月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単 元 株 式 数 100株

公 告 の 方 法 電子公告とし、当社のホームページ
(<http://www.sumcosi.com/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告をすることができない場合は、日本
経済新聞に掲載して公告いたします。
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
事 務 取 扱 場 所 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(郵 便 物 送 付 先) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)  0120-176-417
(インターネット) [http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
ホームページURL \) retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。
■ 単元未満株式の買取請求について
当社では、市場でお取引できないご所有の単元(100株)未満株式に対して、買取請求制度を採用しております。買取手続きの詳細につきましては、お取引の証券会社または当社株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどの他、当社が製造するシリコンウエーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOトップページ <http://www.sumcosi.com/>

株主・投資家情報トップページ <http://www.sumcosi.com/ir/>



株式会社 **SUMCO**
SUMCO CORPORATION

〒105-8634 東京都港区芝浦一丁目2番1号 シーバンスN館

TEL 03-5444-3915 FAX 03-5444-3929

<http://www.sumcosi.com/>

